



2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区ガバナー 片山主水

地区報

2008～2009

08年度(平成20年度)ロータリー愛知81

奉仕の理想

10月

2008年10月1日

職業奉仕月間・米山記念月間

目次

ロータリー財団委員会主催	①
同好会	②
旅行記	③
クラブ紹介	③
例会	④
活動	⑦
私とロータリー	⑦
川柳	⑨
善語座右	⑩
「公共イメージ向上の視点」片山主水	⑩
投稿要領	⑩



【表紙写真／コスモス】

撮影 西三河中分区 岡崎南RC 大須賀 予穂子(おおすか よしこ)

秋の日射しに輝くコスモスの花に一陣の風が通りすぎる、さわやかなひと時。



ロータリー財団 委員会主催

「片山ガバナーと江崎パストガバナー
を囲む会」の開催

酷暑の中、去る8月10日(日)の夕方、名鉄大山ホテルに於いて、当地の伝統ある納涼花火大会に併せて、地区ロータリー財団委員会主催により、片山ガバナーの激励と江崎財団担当パストガバナーの昨年度の慰労を兼ねて会議と懇親会が開催されました。当日は福田パストガバナーを始め、地区ロータリー財団の関係者20数名が集い華やかな花火の演出に子供心に戻り、酔い、感動し、財団活動について積極的な意見交換がなされました。又当日は同じホテルで東尾張分区の会長幹事会も開催されており、片山ガバナー、江崎パストガバナー、深谷財団委員長による表敬訪問も行われ、安藤ガバナー補佐率いる東尾張分区11RCに日頃の協力に感謝の意が表されました。

担当…財団副委員長 朱宮新治



左から深谷友尋ロータリー財団委員長、福田清成パストガバナー、片山主水ガバナー、江崎柳節パストガバナー



左から深谷ロータリー財団委員長、江崎柳節パストガバナー、片山主水ガバナー夫妻、福田清成パストガバナー



前列：右より福田清成パストガバナー、片山主水ガバナー夫妻、江崎柳節パストガバナー、深谷友尋ロータリー財団委員長、久野博淳恒久基金委員長夫妻

後列：右より一人おいて、ミカエル・カルマノ財団奨学委員長、高山光雄補助金委員長、一人おいて、吉川正敏年次寄付委員長、一人おいて、矢形修己研究グループ交換委員長、成田幸太郎ポリオプラス委員長



同好会

●名古屋丸の内RC(西名古屋分区) ダイビング同好会

名古屋丸の内RCでは創立以来、仲間内でスキューバーダイビングを楽しんでいましたが、5年前に同好会として正式に発足し、藤野会長のもと75歳

から35歳までの13名で、年2回の例会をサイパン、タイのプーケット、沖縄等に行っております。今年は沖縄の伊江島へ8名で行ってまいりました。次回は来年1月に現地のロータリークラブと友好関係にあるパラオに行く予定です。

報告 水野裕善



伊江島のホテルにて記念撮影

左2人目から順に会員の、植木広次さん、二俣景一さん、田島陽介さん、水野裕善さん、松尾雄二郎さん、柴田達志さん



サンゴの中の隠れクマノミ



会員の森田正樹さん



沖縄伊江島 枝サンゴ



扇サンゴの群生



旅行記

●あまRC(西尾張分区)

私の見たトルコ

「文明の十字路」と言われるこの国を訪ねて、今まで私が訪れた国とは違った、判らない国だと言う実感であった。

観光名所の Cappadocia の奇岩群は今まで見たこともないものであった。又この奇岩群の内部のキリストの教会は東ローマ帝国時代に栄えたことが判った。また、トルコ名物のベリダンスは観る者を、大変官能的にさせる踊りだった。ボスポラス海峡は、ヨーロッパとアジアに分かれている。ヨーロッパ側が、西洋館が多く、アジア側は、未だ緑が多い。二大陸の



分岐海峡は大変珍しい。トプカプ宮殿ではオスマン帝国時代の侵略の状況がよくわかった。同帝国の時代、世界各国から色々な財宝を集めたが、遠く日本からも、伊万里焼なども手に入っていた。東ローマ帝国のあったビザン



チン時代は、カトリック。その後オスマン帝国が興り、キリスト教会はイスラム教への転換を強制され、モスクに塗り替えられた。その帝国も倒れ、現在の共和制に変わった為か、他のイスラム諸国とは違った、「政教分離」が行われ、酒も飲めるし、国民の9割がイスラム教徒とは思えなかった。

この国は十字路といわれるだけあって、シルクロードの終点もあるし、パリまで行くオリエント急行の始発駅もある。食事米食あり、パンあり、トイレも洋式、和式半々だった。

国の広さは、日本の倍、人口は7000万人、地方は農業(水田、放牧、果物やブドウ畑、その他あらゆる穀物がとれる)が主力。

日本では、ブルガリアの方がヨーグルトで有名だが、本当はトルコが原産地で確かにトルコ人は毎日ヨーグルトをよく食べる。それと安い(日本円で50円)こともあり、チャイという紅茶をよく飲む。日本でのお茶を思わせる。トルコ絨毯、トルコ石、革製品、陶器など、資源にも恵まれている。石油こそ、国の全使用量の2割しか出ないが、古代遺跡も世界遺産として多い。

それにも拘らず、トルコが中進国でいるのは、男があまり働かない。女が大半を働くことと、イスラム教が、所

謂、西側の発展を望んでいないためである、と私は思った。

渡辺晶夫

クラブ紹介

●半田南RC(南尾張分区)

「ロータリーを考える月間」に際して

我がクラブのここ数年の退会者を考察すると、先進会員・中堅会員・新進会員平均に退会者が出ているように見受けられる。先進会員は体調不良等の理由が主ですが、中堅会員・新進会員はそれとは少し異なり誰かに相談するでもなく簡単に退会してしまう現状である。

・ロータリーの目的が会員全体に認識されていない。

・いろいろ寄付行為をしてもその成果報告がないので、お役にたっているのか実感が沸かない。

・委員会事業は、委員長一任で委員長ひとりだけが片づけ仕事的にこなしている。

・会員の個人個人の考え方に違いがかなりあるのではない。

・情報交換はできるが、ロータリーについて、意見交換の場がない。

・会員個人個人がクラブ内で疎外感を抱いている。



などなど、少しクラブを眺めてみただけでも退会の要因が出てきます。解決方法として、

- ・親睦に活路を見いだす。楽しくなければ長続きしない

- ・同好会・任意の会の親睦会を活発に
- ・会員が疎外感を抱かないクラブ運営
- ・役割分担をする

等に気を付けて会を運営できたらと思います。

そしてもう一つ大切なのは、時の会長が何らかの仕掛けをしていくことが出来るか、であると思います。提案ですが、年に1、2回メインの大きな事業を行なっていくかがでしょうか。

それは外に向けてでも内に向けてでもよいと思いますし、お金をかけなくてもよいかと考えます。

多くの卓話の時間を使って、クラブ内でひとつの事業にカンカンガクガク討論や、意見交換から始めて1事業を成し遂げる。その事業がマスター・ベーションに終わってもかまわない。次に改良すればよいと思うのです。そうすることがクラブ内の一体感を創り出すのではないかと思います。

半田南RCも一致団結し一丸となったときがありました。

それは、2002年に地区大会をお受けしたときです。当初は、クラブ内

は混乱しました。準備が進むに連れられもが切羽詰まり、崖っぷちの状態になり、そこから本大会前日・本大会に向かつて40歳代から80歳代まで、先進会員・中堅会員・新進会員が一致団結し大会を終わらせることが出来ました。その時クラブが一丸となったなど実感しました。翌日は、どんな大きな大会でもやってやるぞと思ったのは、私だけではないと思います。

私達のクラブも一時は70余名の会員を擁しておりました。毎年会員が減少しCLPを導入しなければならぬ会員数となり、今期からCLPを導入しました。今のところ、奉仕プロジェクト委員会の役割が曖昧になり、4大奉仕部門がばやけてしまった様になっていきます。この状態から抜け出すためにも一つのプロジェクトを立ち上げそれぞれの奉仕部門が連携して地域に発信できれば良いのではと思っております。そうすることによりクラブの活性化が出来、会員増強も図ることが出来るのではないかと思います。

我がクラブには代々引き継がれている暗黙の了解があります。「まずはやってみる」ではないでしょうか。

過日、会員維持増強委員会を中心に話しあいをしたものをまとめたものです。

会員維持増強委員会委員長 永田明世

●豊橋RC(東三河分区)

歴史と伝統

豊橋クラブは1950年(昭和25年)に創立され、これまでに当クラブから4名の地区ガバナーが誕生しています。地区大会のホストは過去2回経験しています。

今年度は当クラブの松井章悟会員がガバナー補佐に就任され、分区大会のホストとローターアクト地区年次大会を豊橋で開催します。

来年度は地区大会をホストし、その次の年度はクラブ創立60周年を迎え、対外的な事業の多い年が続きます。

当クラブではこれまで周年記念行事では地元へ恩返しをする行事をし、地区大会等の対外事業は手づくりで心のこもったおもてなしをしています。当クラブは対外的な行事を開催することでクラブの活性化と結束をはかってきました。

今年度は、先輩会員の方々からご自身が経験した行事について具体的にお話しをしていただき、当クラブの伝統、すばらしい足跡を会員の方々に再認識していただく。そして、会員の方々が同じ認識にたつて今後のクラブ運営が楽しくスムーズになるようにしたいと思います。

副会長 河合良之

例会

●名古屋葵RC(東名古屋分区)

ロータリーを考える

新年度がスタートし、7月は地区特別月間として、「ロータリーを考える月間」として設定されています。会長の任が終了し、ホツとしたのもつかの間、早々にこの中々難しいテーマを担当することとなりました。昨年度、ロータリーの理解を深める目的で、「ロータリーを語ろう」をテーマとし、一年間進めてきたその成果を評価す





る機会として、担当させられたのかも知れません。

さて、どのように進めていくのか、「ロータリーテスト」をツールとして、メンバーとロータリーについて考え話し合う機会が持てればよいのでは、ということとしました。

ロータリーに関する設問(10問)に○×式で、5〜7分答えて頂き、その後皆さんの答えを聞き、解説をまじえながら正解(?)をお話ししました。テストは回収して採点するのではなく、自己採点し、ロータリーの知識と理解を深めることを促すものです。

【設問】

- ① (一)ロータリーは職業分類に基づく会員組織なので、クラブ員は自己の職業の代表者としてロータリーに入会している。
- ② (一)ロータリーにおいて一番大切な目的のひとつは会員同士の親睦を深めることだ。
- ③ (一)ロータリアンはお互いの事業の発展を図るため、それ以外の事業者より多くの利便を互いに提供すべきだ。
- ④ (一)ロータリークラブは奉仕団体であり、クラブとしてもクラブ員一丸となって社会奉仕に邁進しなくてはならない。

⑤ (一)他の奉仕活動の受益者はロータリアンであつてはならないが、職業奉仕活動の受益者はロータリアンだ。

⑥ (一)ロータリーの歯車のマークはロータリーが設立された100余年前、アメリカの産業の象徴であつた機械工業のイメージより採用されたものである。

⑦ (一)国際ロータリーは各ロータリークラブより寄付金を集め奉仕活動をしている、いわば世界ロータリークラブとも言える存在である。

⑧ (一)ロータリーは1人一業種というのが原則だったが、近年一業種5人まで(メンバー51名以上のクラブにおいては同一業種分類の下に10%まで)の会員が認められるようになったので、会員増強にこの制度を積極的に活用することが推奨されている。

⑨ (一)ロータリアンは原則として世界中どここのクラブの例会にでも事前の連絡なしに参加することができる。

⑩ (一)ロータリアンは世界平和のため、ひとり年間100ドルを国際ロータリーに納めている。

※当日、簡単な解説を加え解答をしましたが、後日文書で解答と解説をメン

バーに配布することになりました。

直前会長ロータリー情報ロータリー研修兼任

石田壽

名古屋名城RAC招待合同例会

8月7日(木)19時より、名古屋 Rotary クラブと名古屋名城ロータリーアクトクラブとの合同例会が行われました。名古屋名城ロータリーアクトクラブは東名古屋分区分11ロータリークラブで提唱するロータリーアクトクラブであり、今年度は私たちのクラブが主管を務めさせていただいております。年4回提唱ロータリークラ



ロータリーアクト新入会員

ブとの合同例会があり、今回の合同例会は私達のクラブが創立して以来初めて単独で行う合同例会となります。

例会には、地区ロータリーアクト委員はじめ分区分内のロータリーアクト担当委員の方もご出席いただき、ロータリーアクトや他クラブのロータリアンとの交流のよい機会となりました。田中新世代委員長はじめ新世代委員会の準備と青木SAAの名司会により楽しい例会となりました。また、ロータリーアクト新入会員の入会式もあり、ロータリー同様会員増強が難しい中アクトの努力を感じることができました。

社会奉仕委員 吉田龍宏

●豊田西RC(西三河分区分) 創立38周年記念例会

豊田西ロータリークラブは、8月25日(月)1779回の例会で、パスト会長の1982―3年に会長をされた山田良一さんが特別参加され、創立38周年記念例会を開会しました。

池田憲治会長は「歴代の会長はじめ、会員皆様の並々ならぬご努力があり、ロータリー活動が続けられました。また、当クラブは常に100名を超える会員を有し、過去には地区協議会・ライラセミナー・地区大会・IM



等の大規模なイベントのホストをやり遂げ、豊田西ロータリークラブは、華々しい歴史を歩んでまいりました。



懇親会



池田憲治会長 挨拶



創立38周年記念例会

今日は、本当に素晴らしい記念例会を迎えることができました。」と挨拶されました。

また、例会中に年間皆勤出席者の表彰を行い、30年皆勤出席者の長坂義幸君をはじめ20名の方が受賞されました。

例会後、懇親会で山田良一パスト会長にご挨拶をいただき、中川俊治副会長の乾杯後、食事をしながら、和気藹々、談笑し、会員同士の親睦を深め、最後に出席者全員で「手に手つないで」を合唱し、38周年に相応しい記念例会をすることができました。

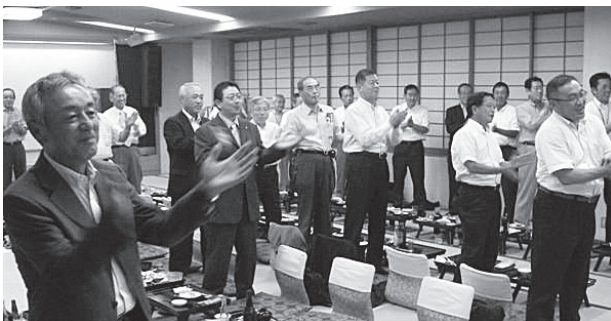
会長 池田憲治



手に手つないで



皆勤賞受賞(30・25年間)



親睦夜間例会風景

親睦夜間例会を開催

平成20年7月28日(日) 18時30分開会料亭『福好』で、親睦夜間例会を開催しました。72名の会員の方々に出席をいただきました。

今回の目的は、新年度に充たって、豊田西ロータリークラブメンバー全員が更に親睦を深めていただき、池田会長を中心に理事会構成メンバー並びに各委員会が、1年間大過なく無事に諸事業が遂行出来る為の一助となるような親睦例会にすることです。

会員の皆さんが、和気藹々と親睦をされて見えたので、今回の目的は達成できたものと思います。

08・09年度親睦活動委員長 長坂剛充



親睦夜間例会風景





活動

●名古屋西RC(西名古屋分区)

名古屋西ロータリークラブは都市緑化と地域環境保全に協力し、名古屋市に植栽を寄贈しました



植栽時の写真

名古屋西ロータリークラブは、地球温暖化防止、都市の緑化促進に寄与する主旨で昨年度(高木義光会長、名古屋市に樹木一式「イロハモミジ五本」を寄贈しました。イロハモミジは、当クラブのテリトリにある名古屋市中村区の中村公園に植栽されました。中村公園は秀吉誕生の地として高名で、名古屋市の都市公園としては鶴舞公園と同時期に開園し、今年で120年余となる由緒ある公園であります。

平成20年7月30日(水)第50回を迎える「中村公園夏祭り」に会わせ、同公園内で、名古屋西ロータリークラブから足立邦彦会長、愛知万博協会から環境緑化に貢献する事業として「モリゾー・キッコロ」が出席し、午前10時、市民参加のもと植樹行事が行われました。

当日の様子は、中日新聞で報道され、名古屋西ロータリークラブの奉仕活動の一端を紹介されました。

SAA 長谷川道春



中日新聞 記事

●名古屋名駅RC(西名古屋分区)

名古屋名駅ロータリークラブは、台湾からの留学生鄭玉琪さんを米山奨学生で受け入れています。鄭さんは、名古屋大学大学院国際言語文化研究科で日本文化を専攻している2年生です。

明るい性格で、ロータリークラブのメンバーと流暢な日本語で会話をしています。例会のみでなく、今年度当クラブ、主要事業の一つである



鄭 玉琪さん

「NOU KNOW BETTER」名駅新能」やちゃんこ鍋パーティー、また2360地区の学友会などの行事にも積極的に参加して、この留学期間中に少しでも日本の文化に触れ、吸収しようとする姿勢は、微笑ましく、カウンセラーとして温かく応援してあげようという気になります。しっかりと両親の躰もあり、礼儀正しく、日本の若い女性も見習ってほしいと思うことがあります。日本文化の研究のみならず、日本料理の研究も実践しているようで、留学生の友人も多く、皆さんで食事会なども開いているようです。おそらく留学生仲間でも人気者ではないでしょうか？ロータリークラブの皆さんも、例会などで姿を見かけたら気軽に声をかけてあげてください。留学生を全員で暖かく迎えることは、米山記念奨学会の精神のみならず、ロータリアンとして今すぐできる国際奉仕であると考えていま

す。名古屋名駅ロータリークラブでは、10月23日に彼女の卓話を予定しております。こういった優秀な留学生を受け入れ、日本鼻肩になってもらう活動のために10月の米山月間には皆様のご寄付を宜しくお願いします。

米山記念奨学会委員長 生田芳規

私とロータリー

●常滑RC(南尾張分区)

ノブレス・オブリージ

ロータリーでは奉仕の原点を思いやりの心だと説明することがよくあります。しかし思いやりの心は人間の誰しもが持つべき心であって、ロータリアンとしてはこれでは物足りないように思います。西洋で生まれた言葉に「ノブレス・オブリージ」という言葉があります。これを「高貴な義務」と直訳すると何か他人事のように思われますが、意味を広く解釈して「財産・権力・社会的地位には責任が伴う」と捉えて、富裕者・権力者・有名人こそ社会の模範となるように振舞うべきであるという意味に理解すれば、これはまさに全てのロータリアンに求められていることではないかと思えます。特に昨今の社会のいろいろな歪みを



是正していくために、リーダー層の人たちが公私を含め自分の思考や行動において常に意識したいことだと思っています。そしてロータリークラブはお互いに切磋琢磨することによって、このような心を育む機会を提供できる格好の組織ではないでしょうか。

伊那輝三

●一宮中央RC(西尾張分区)

出席100%累計5年を振り返って

時の過ぎるのは早いものですね。

ロータリーとは何かと聞かれても何も答える事の出来なかった私が、平成15年2月に一宮中央ロータリークラブに入会をさせて頂き先輩ロータリアンの温かい友情に包まれ、出席100%累計5年を迎える事が出来ました。そして、今年度職業奉仕委員長の大役を拝命し、自分なりにロータリー

の理念を理解すべく、ロータリー綱領等熟読してまいりましたが理解するに至らない状況の中、片山ガバナリーの4月地区協議会、8月地区職業奉仕委員長会議での講演を拝聴する中で、ロータリーの基本は親睦・奉仕そして出席の三つであり、私は、点鐘も三回行つと述べられました。ロータリーに関する書物を色々熟読しても、理解に至らなかったロータリーの理

念を私なりに理解出来た貴重な講演でした。今後もロータリーの理念に基づき実践し、出席100%累計10年・15年・20年に向かい意を新たに致しております。今日この頃です。

永田正

●名古屋栄RC(西名古屋分区)

「とにかくロータリークラブに入れ！」が尊敬する先輩の言葉。

会費を払って毎週食事に参加するだけで良いから...が誘いの始まりでした。30代後半で事業を受け継いだばかりでありましたが、訳もわからな

いまま入会し本年で30年近いキャリアになってしまいました。おかげでエリア内、1業種1名の異業種交流がコンセプトのロータリークラブは小生にとってかけがえのないものになりました。

【名古屋栄ロータリークラブ】の初代会長は故山田昇平氏であり彼の基本的な考え方「とにかく楽しく、親睦を基本にしなさい」が今でも耳に残っています。

伝統的な考え方からクラブでは会員相互の交流が盛んであり、親睦例会/同好会を中心とまとまりのある和気藹々とした雰囲気の中、順調なクラブ運営がなされております。

これはひとえに先輩会長、幹事他役員、会員の皆様のご理解とご指導があったこそのおかげです。

因みに名古屋栄ロータリークラブの例会は夜間開催です。

ロータリークラブで以前行われていましたFSM(Fire Side Meeting)も会員の賛同を得てミニ懇親会として年に3〜4回程度開催しています。

委員会ごとにあるいは入会年次ごとに、いろいろ工夫をして小集団で意見交換をしています。おかげさまで新入会員との融和も図れ、ますます相互の理解が深まり奉仕活動も活発になってきております。

来年度、当クラブは創立20周年を迎えます。大きな節目の年になります。記念すべき年度の会長を仰せつかり、責任の重さをひしひしと感じているこの頃です。これまで同様に会員相互の親睦を図り、地域に意味のある奉仕活動を進めて参る所存でございます。今後とも絶大なご指導ご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

私の好きな言葉

「入って学び、出でて奉仕せよ」

08〜09名古屋栄RC会長エレクト 長瀬論

●豊橋ゴールデンRC(東三河分区)

ロータリーを楽しむ

縁あってロータリークラブに入会し、すでにおよそ2年。ながらく東本願寺に勤めていた因縁もあり、今年はクラブの方々と語らつて京都・祇園へ2度も遊びに行きました。

しかし私が内心ひそかに考えているのは、奈良の飛鳥(明日香)・斑鳩の法隆寺などに皆様を案内し、仏教の理想がどれだけ高邁なものであるのか、また聖徳太子のご功績など、仏教の受容と日本仏教の精神性を研修する旅行であります。

後に聖武天皇が心から発願した東大寺の大仏建立につきましても、当時の日本人が精神において未だに闇に閉ざされていた状態を脱し、日本の隅々にまで仏教を行き渡らせて、日本人をして精神生活をさせることにありました。

そうして自らは、正月元旦、高御座に立つ代わりに東大寺の大仏である盧遮那仏に手を合わせたのであります。

岩佐眞

●田原パシフィックRC(東三河分区)

夜の例会

入会間もないころ、我々の大先輩安



野譲次バスターガバナーの著書「はげす
ずめ」を読んだことがある。ユウモア
あふれる文章のなかでロータリーの
神髄を語っている楽しく読める本で
あった。その中に「夜の例会という一
題があったのでここに紹介をする。」

「柏原孫衛門バスターガバナーが東北
のあるクラブを公式訪問された時、そ
のクラブ員の奥さんに、今日はお昼の
例会ですが、ロータリーでもお昼に例
会をすることがあるのですか、と聞か
れて、返答に困った。この会員、夜な夜
なロータリーを種に夜の例会を美し
い会員とやっていたようである」と。

さて、我がクラブは夜間例会のクラ
ブのため、創立当時例会終了後美女を
囲んでの二次例会が開かれることを
心配して、例会終了後は何があっても
一旦帰宅することを約束した。これは
今でも守られているようである。

家族の理解と信頼があつてははじめ
てロータリーである。

平野 義郎

●岡崎東RC(西三河中分区) 信頼

社会性が複雑化してくると、自分の意
に反して思わぬ不信を招き、驚くことが
ある。善意の行為の結果とすれば笑え
ぬ事実であり、信頼の条件は今後更に増



長年、例会のロータリーソング演奏を
担当している杉浦多美夫さんと愛用の
アコーディオン「ホーナー・ゴラ」

加し、難しくなることが予想される。

そこで日常生活の中から、もつとも
身近な条件を挙げるとすれば、「約束」
を守ることがある。この「約束」
を確実に守ることができれば、信頼度
50%は確保できるものと思われる。簡
単なこの方法には即効性があり、かつ
近道で効率が良い。この程度のこと
は、ロータリアンの諸氏からすれば至
極当然なことと思われるに違いない
が、中には例外もいる。

わが国は法治国家であり、国民は
法律に準拠しなければならない。又、
ロータリークラブにおいても然り、法
律(定款細則)があり我々ロータリア
ンは、その約束事に基づいて行動しな
ければならない。しかるに、この約束
事を遵守することによって更に、社会
的にも信頼を高めることに繋がって
行くのではないかと思う。

杉浦 多美夫

●田原パシフィックRC(東三河分区) シンガポール(星港)での メーキャップ

05年6、7月星港在勤の長男の家
を利用し5週間程滞在し南アジア
を旅行したり、船旅も楽しみました。
その間に星港北・西、ラッフルズ・シ
ティーRCの例会に出席しました。例
会会場は北・西RCはホテルの一室、
ラッフルズRCは警備の厳重な華僑
銀行ビルの一室で、例会食は何れの
RCも豪華でビュッフェ式、コース
メニュー等で中国、インド、マレー、イ
ンドネシア系の会員が和気藹々と語
らいながらゆつくりと食事を満喫し
ていました。各RC共来訪者紹介、バ
ナー交換の後ミニスピーチを求めら
れましたので、先ず大歓迎に感謝し、
2760地区、自クラブのPR、私の
経歴(航海士、船長、水先案内人)を紹

川柳

●豊田三好RC(西三河中分区)

酒盛り 失した時間の 恐ろしさ
(さけあおりうしたじかんの おそろしさ)

08-09年度 社会奉仕委員長 石川 道男

介し、1957年5月星港に初めて入
港した時の想い出、英国から独立して
半世紀の素晴らしい発展に敬意を表
しました。例会の内容は僻地の教育支
援活動、シカゴへの見学ツアーの様子
をPCの映像を駆使しての報告、初代
会長の格調高い卓話を拝聴し大いに
啓発させられました。

各クラブの例会進行に共通してい
る点は

- 一、形式にとらわれない。
- 二、ロータリー活動は楽しみ乍ら行
うもの。
- 三、TPOで柔軟に対応する。
- 四、豊かな表情や会話を醸し出す心
のゆとり。

以上四点を深く心に感じさせられ、
私の乾き気味の心を耕してくれまし
た。

伊藤 富士彌



善語座右

ガバナー月信

「公共イメージ向上の視点」

外国語が一度意識でなくそのまま音写されて使用されたと、それ以後のその言葉の意義的な深化はなく類語的な進展も反意語等の生成もなく、その音訳語は他の言葉から孤立し、思想の伝達用具としては耐え難く不十分となります。今日の日本文化・産業経済の隆盛は、明治維新時の西洋文物の移入に際して、思想を伝達する用具である言語の翻訳が真に適切に開発されたことに少なからず負っているところがあります。

ロータリーの翻訳用語は、日本移入に際してはすべてカタカナによる音写用語でした。それ以後、これを踏襲し、変更・改革のことを聞きません。会員の皆さんがどのように考えておられるか判りませんが、ロータリーが日本に入って九十年近く経ちますのに、敗戦の特殊事情はあつたにせよ、もうそろそろ日本語によるロータリーであつてもと思つていますがいかがでしょうか。同期のガバナーも「日本の香りのするロータリーを」と言っています。

RIもここ数年、ロータリーの公共イメージの向上を強調しています。公共イメージ向上はロータリー自身が仲間うちでまず分り易い言葉による日常でなければなりませんし、閉鎖的・独善的ロータリー用語の公共への開放からだと思ひます。こういう視点がなければ、公共イメージの向上など掛け声だけに終わります。ガバナーだの、IMだの、RI第2760地区だのという言葉からの改善がまずなければならないと思ひます。

ロータリーという名称を台湾では「扶輪社」と意識して定着しているようですが、ロータリーという名称はもとと意に介する程の抵抗感がなく、今では長年月のうちに日本語に溶け込んだと言つていいように思ひます。しかし、IMインターシテミティンクなどは頂けません。実態に合せてそのまま分区分大会でいいと思ひます。（愛称は「愛笑む」友愛の広場は「愛笑むの広場」とでも）さて、問題はガバナーと地区名です。ガバナーを韓国では総裁、台湾では総監とかの由。日本はそのままガバナーとはまた何を思つてのことでしょう。世間にはガバナーと言つても判りません。ロータリーの輸入以来長年使用してきたという事情はありますが、まだロータリーの語程定着していません。そこで、十年先走つていろいろと考

えあぐねたすえ、「会頭」「統理」……という候補を推薦しますがどうでしょうか。「会頭」が一番無難のように思ひます。

次の地区名称ですが、国際ロータリーが当地区に付けた正式名称が、国際ロータリー第2760地区とは恐れ入ったことです。無味乾燥な第2760地区が当地区の固有名称です。管理のために番号が利用されるのは合理的な理由によるものですから、全然反対しませんが、何故に地区に意味のある固有名詞を地区番号とともに付けないのでしょうか。RIとの事務上の遣り取りは地区番号で充分ですが、地区が他地区と連絡したり、ロータリーの外へ語りかけるのにRI第2760地区では誰も耳を傾けません。公共イメージの向上には繋がりません。私は、ロータリー愛知81と称して他地区や地域社会に発信しようと思つています。一部そうしています。皆さんのご意見をどうし投稿欄にお寄せください。



1995年4月春の家族会にて、問答中

投稿要領

- 1 提言、苦情、話題、問答、意見など
 - 2 ロータリー文芸
 - (1) 随筆 (2) 俳句・短歌・川柳 ほか
 - (3) 善語座右・四字熟語（座右の銘・天声人語的な文・モットーなど）
 - 3 ロータリー会員相互の親睦を深めるもの
 - 4 同好会、趣味の会 など
 - 5 クラブの催し など
 - 6 クラブの奉仕活動 など
- 原稿量 …… 概ね4000字程度以内でお願いします。
 - 宛 先 …… ガバナー事務所、「奉仕の理想」編集室宛 28ページ参照
写真があれば添えてください。
 - 形 態 …… Eメール governor08-09@rotary2760.org
投稿者のクラブでの肩書、お名前を明記してください。
 - 締 切 …… 発行の2ヶ月前を締め切りとします。
(例 12月号の締め切り…10月末)